



米国食肉輸出連合会は、日米の食肉業界の飛躍に貢献できるよう努力しております。

Trader's Be&Po

米国食肉輸出連合会 (USMEF) <http://www.americanmeat.jp>

Volume 023 Feb 28, 2005

Trader's Be&Poはメールでもお届けします。ご希望の方は、下記にご記入の上、FAX返送してください。

お名前 様 メールアドレス @

FAX番号 03-5542-2912

「Trader's Be&Po」はインターネットでもご覧いただけます。
ご希望の方は、下記URLからダウンロードしてください。
<http://www.americanmeat.jp/publications/tnf.html>

★「Be&Po」とは、Beef(牛肉)とPork(豚肉)を合わせた言葉で、アメリカン・ミートがもたらす豊かな食の世界を表現しています。

BSE関連ニュース

●日本政府、成熟度A40受け入れへ

農林水産省と厚生労働省の専門家検討会は、米国側が示した調査データの信頼度が高いとして、米国産牛肉の月齢判定方法に枝肉の成熟度スコア(A40以下)を使用することを条件付きで受け入れた。再開に向けた前進とはいえ、この成熟度に該当する牛は肥育牛全体の8%と推定されている。日・米政府は既に、20カ月齢以下と判定された米国産牛肉に限り、受け入れについて共通の理解に達している。今後は、昨年10月に両国が合意した月齢判定基準の詳細を詰め、BSE政策全体の見直しと輸出再開のための規則改正を行うことになる。これらの作業に数カ月はかかるため、夏以前の再開はないものと関係筋はみている。

※2005年2月14日 Cattle Buyers Weekly

●米上院議員、カナダ牛輸入再開阻止で協力

米上院議員9名(共和党2名、民主党7名)が党を超えて連携し、カナダを最小リスク国と指定してカナダ産生体牛輸入再開を定めた、農務省の最終規則に反対する共同決議案を提出した。議員らは「BSE感染牛の存在が判明し、違法飼料の使用禁止措置をとっていない国からの生体牛輸入再開を押し進めるのは強引だ」と異議を唱えている。

※2005年2月14日 Meatingplace.com

米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

牛肉市況(2月7日～11日)

●週間と畜頭数：57.3万頭(前年比5.4%減)。

●肥育牛の取引価格(100ポンド[約45kg]当たり)：

主要5市場では平均89.66ドル(前週比0.54ドル安)。

枝肉価格は平均141.70ドル(同0.40ドル高)。

●牛肉価格：歩留まり等級3(YG3)のチョイスは前週比

4.39ドル高。YG2～3のセレクトは144.48ドル(同5.73ドル高)。

主要12州のフィードロット内頭数²、前年比2.0%増

(2005年2月1日現在)

	2005年 ³	対前年
1月1日現在フィードロット内頭数 ⁴	11,299	100.0%
1月導入頭数	1,885	107.0%
1月出荷頭数	1,776	100.0%
1月のその他の消失 ⁵	74	79.0%
2月1日現在フィードロット内頭数 ⁴	11,334	102.0%

オクラホマシティーにおける去勢牛の体重別、100ポンド(約45kg)当たりの価格(US\$)

体重(ポンド)	2月7日～2月11日
450～500	127.25～135.00
500～600(子牛)	116.00～126.00
500～600(若齢牛)	119.00～128.00
600～700(若齢牛)	105.50～118.25
625～750(子牛)	100.00～102.50
700～800	101.75～108.00
800～1000	93.25～104.75

※2005年2月11日 Cattle Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

注：1.アリゾナ、カリフォルニア、コロラド、アイダホ、アイオワ、カンザス、ネブラスカ、ニューメキシコ、オクラホマ、サウスダコタ、テキサス、ワシントン

2.収容頭数1,000頭以上。

3.単位：1,000頭。

4.穀類あるいは他の濃厚飼料を主食とし、セレクト以上として肥育される、と畜用の牛、子牛。

5.死亡、放牧場への移動、他のフィードロットへの移動など。

※2005年2月18日 Cattle On Feed(米国農務省)



米国食肉市場ニュース

～ 豚肉 ～

豚肉市況(2月7日～11日)

- 週間と畜頭数：203.0万頭(前年比数字なし)。
- 肉豚の現金取引価格：主要市場の価格は横這いから0.50ドル安の間で推移。

主要市場における100ポンド(約45kg)当たりの最高価格(US\$)

	2月11日
ペオリア	45.00
セントポール	46.00
スーフォールズ	47.00
ミズーリ中央部	45.25

185ポンド物(約83.5kg)の枝肉平均価格(US\$)

	2月11日
東部トウモロコシ地帯	64.61
西部トウモロコシ地帯	64.64
アイオワ・ミネソタ	64.69
全 国	64.63

100ポンド(約45kg)当りの豚肉製品価格(2月11日/US\$)

製品名	価格(前週比)増減	備考
ロイン	118.00(+3.67)	トリム1/4インチ
ボストン・バット	87.63(-1.37)	トリム1/4インチ
ポークベリー	86.00(-2.00)	14～16ポンド物(約6.3～7.3kg)
ハム	71.00(-5.00)	20～23ポンド物(9.1～10.4kg)

※2005年2月11日 Hog Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

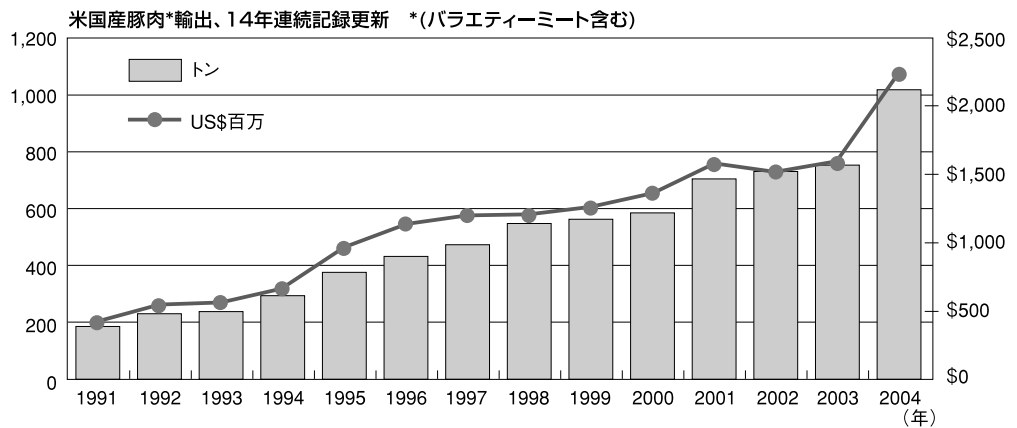
1月最終週から3週間の処理頭数は、多かったとされる前年同期に比べ3%増加し、今週のと畜数も200万頭を超えていることから、肉豚価格の下落は、需要の低下より処理頭数の増加が原因とみられる。昨年度は予想外に需要が伸び、今年も最低でも1.5%増を期待したいが、過去、異例の需要増加があった翌年は低調という傾向がある。

※2005年2月11日 Hog Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

市況ニュース

●米国産豚肉、輸出実績で過去最高を記録

2004年度、米国産豚肉(バラエティーミート含む)総輸出量は102.3万トンで14年連続の記録更新となり、総輸出高も前年より5億ドル以上増加の22億2,700万ドルと過去最高に達した。最大の輸出相手国メキシコ向け実績は、輸出量361,587トン(前年比65%増)、輸出高566,521ドル(同92%増)で、ともに5年連続で記録を更新。輸出高1位・輸出量2位の日本向け実績も313,574トン(前年比16%増)、978,541ドル(同25%増)となった。



2004年度米国産豚肉・バラエティーミート 主要輸出相手国

国・地域	輸出量(トン)		輸出高(千ドル)	
	2004/1-2004/12	前年比	2004/1-2004/12	前年比
メキシコ	361,587	65%	\$566,521	92%
日本	313,574	16%	\$978,541	25%
カナダ	112,360	15%	\$301,238	43%
中国/香港	79,701	41%	\$90,882	51%
その他*	135,139	60%	\$244,257	91%
合計	1,023,413	35%	\$2,227,085	41%

(*台湾、韓国、ロシア、中南米、カリブ海諸島、EU)



市況ニュース

●米国産牛肉輸出、各国の輸入禁止で痛手

2004年度は各国の米国産牛肉輸入禁止措置の影響で、バラエティーミートを含む総輸出量は321,967トン(前年比75%減)、総輸出高は8億920万ドル(同79%減)に止まった。一方肉牛生産者協会の発表によると、一人当たりの牛肉消費量や牛肉消費支出等に基づいて計算した昨年度の米国内牛肉需要は、過去10年間で最高の前年比7.74%増、1998年度比では25%増加した。

2004年度米国産牛肉・バラエティーミート 主要輸出相手国

国・地域	輸出量(トン)		輸出高(千ドル)	
	2004/1-2004/12	前年比	2004/1-2004/12	前年比
メキシコ	197,617	-41%	\$565,922	-35%
EU	46,316	254%	\$33,724	115%
カナダ	23,332	-75%	\$98,497	-70%
ASEAN	13,760	-30%	\$22,476	-30%
その他*	27,725	-35%	\$66,137	-28%
合計	321,967	-75%	\$809,210	-79%

(*カリブ海諸島、ロシア、東ヨーロッパ、中東、中南米、中国/香港)

※2005年2月10日 米国食肉輸出連合会 (USMEF) ニュースリリース&2005年2月7日 Meatingplace.com

業界ニュース

●低需要で生体牛価格が低迷

需要が下がり先物市場が高騰したため、生体牛価格は1ドル高の予想に反し、1ドル安となった。ボックスビーフ価格は、2月1週目にチョイスのカットアウトが100ポンド当たり6ドル盛り返した後、2週目は頭打ちとなった。と畜頭数減少が予測されているが、価格は横這いの見込み。今年の冬は、肉牛肥育が盛んな州の多くで例年より雨が多く、テキサスからオハイオ州にかけては70年来の雨量を記録。サザン・プレーンズ(オクラホマ南部～テキサス北部)のフィードロットは、昨年11月から雨にたたられている。

※2005年2月14日 Cattle Buyers Weekly

●スミスフィールド・フーズ社の利益倍増

同社は2005年度2月1日期の第3四半期の1希薄化株式当たり利益が、86～87セント(前年38セント)になる見込みと発表した。同社は、大幅増収は垂直統合政策の成功と、前年比48%増の肉豚価格の上昇によるものとみている。

※2005年2月15日 Meatingplace.com

イベント情報

●FOOD EXPO JAPAN 2005 開催! -アメリカン・ミートのおいしさをアピールします

米国食肉輸出連合会 (USMEF) は3月8日(火)～11日(金)、幕張メッセで開催される「FOOD EXPO JAPAN 2005」でアメリカン・ミートのおいしさを再発見していただける数々のイベントを展開します。ポークのコーナーでは、今年のキャンペーンの内容を試食を交えて紹介し、アメリカン・ポークならではのチルドポークのおいしさを、食べ比べなどを通じて実感していただきます。また、ビーフのコーナーでは、日米両政府の共同宣言など関連の最新情報と、セーフティー情報をわかりやすい資料でご案内します。割当の関係で今年はチケットをご用意できませんが、ぜひ足をお運びくださいますようお願いいたします。

●USMEF、アメリカン・ポーク料理教室開催

米国食肉輸出連合会 (USMEF) は、3月24日(木)、大阪で人気のフレンチレストラン「シェ・ワダ御堂筋」にて「アメリカン・ポーク料理教室-和田信平の家庭で味わう本格フレンチ」と題した料理教室を開催します。会場では、オーナーシェフの和田信平さんが考案した、アメリカン・ポークを使った家庭でも手軽に作れるフレンチメニューのデモンストレーションや試食会を行いますので、是非ご応募下さい。

■日時:2005年3月24日(木) 11:00～13:00(受付開始10:30) ■募集人数:60名様 ■参加費:1,000円

■会場:シェ・ワダ御堂筋2Fホール「ブルミエネージュ」 大阪市中央区北九宝寺4-1-6 TEL:06-4704-4008

■応募方法:官製はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記のうえ、下記にご応募下さい。

〒150-8799 東京都渋谷区渋谷1-12-13渋谷郵便局留 アメリカン・ポークイベント事務局 係

※誠に勝手ながら、当選者の方にのみご連絡させていただきます。※当選者の方には、ご持参物や地図などのご連絡レターを郵送させていただきます

■お問い合わせ:USMEFアメリカン・ポーク料理教室事務局 担当:山口/菊田 Tel:03-3486-6868 Fax: 03-3486-7502